

▶ 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel 0120-094-777（通話料無料）

公 告 方 法 電子公告
ホームページ：http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html
電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。
※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

単 元 株 式 数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部

インターネットホームページ http://www.soft99.co.jp

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

http://www.soft99.co.jp

IR情報は、こちらのボタンをクリックしてください。



株主様向け三田工場見学会のご案内

株主様向けの工場見学会を下記の通り実施いたします。

- 日時（各回10名様）
平成27年3～5月の各月1回（所要時間約2時間）
- 見学場所
三田工場（兵庫県三田市テクノパーク14-1）
＊工場までの交通費は各自のご負担とさせていただきます。
＊写真撮影はご遠慮ください。
- 対象者
当社株式100株以上をご所有の株主様
＊同伴者は小学生以上の方1名までとさせていただきます。

- 応募・お問合せ先
人事総務部
TEL 06-6942-8761



第61期 中間報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成26年9月30日

Service

Porous Materials

Fine Chemical

Real Estate

ソフト99コーポレーション

「生活文化創造企業」の 経営理念のもと、 更なる成長を目指します。

代表取締役社長 田中 秀明



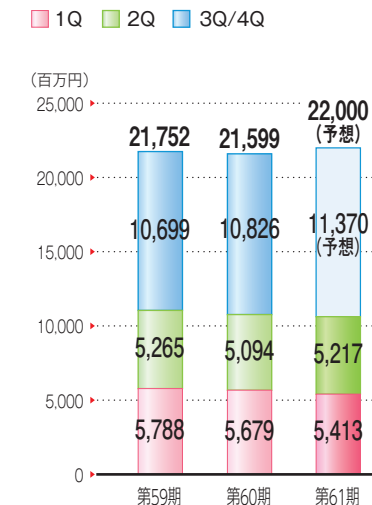
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今期は、新中期経営計画「SOFT99 Drive」の初年度であり、当社グループは計画の達成に向けて一丸となり取り組んでおります。
平成26年4月には政府による消費税率引き上げが行われ、当社グループを取り巻く経済環境は大きく変化いたしました。自動車販売においては、3月末の駆け込み需要の反動が顕著にあらわれる結果となり、小売業界では店舗への来客数の減少が起こるなど、一般消費においても影響がみられました。
このような中、当社が営む各事業においては、新車販売に依存している業務用コーティング剤の販売や、ボディお手入れ製品を中心とした国内製品販売において苦戦し、積極的な営業活動に努めたものの、当第2四半期累計期間の連結業績は残念ながら減収減益という結果となりました。
減益の主要因としましては、利益率の高い業務用製品販売が減少し、利益率の低い海外向け販売が増加したことで粗利益の構成が変化したことに加え、新製品の発売にともなう広告宣伝費など、将来に向けた先行投資があったことが挙げられます。

このような国内市場の状況や、子会社の既存流通である海外半導体メーカーへの販売の落ち込みをふまえると、当社グ

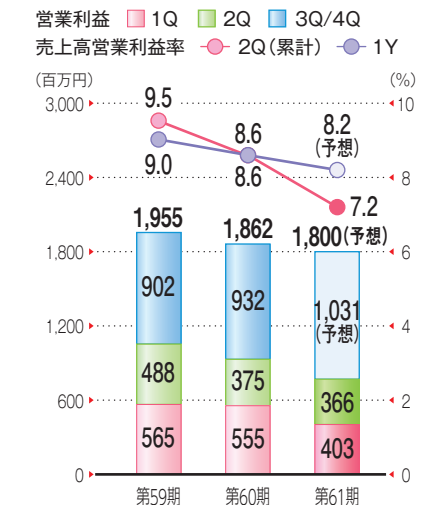
ループのビジネスは転換期に立たされていると感じております。
またその一方で、人々の消費行動は、価格が高くて価値のあるものを求める傾向が強まりつつあります。当社でも、そのような急速に移り変わる市場トレンドに対応すべく、新しい切り口の新製品を継続的に投入することを中期経営計画で掲げており、今期には、水なし洗車とコーティングができる「スムーズエッグマイクロホイップ」や、他社とのコラボレーションによる「メガシャキ芳香剤」など、新しい視点で生み出された製品を発売してまいりました。このように、各事業において「新しいこと」へのチャレンジを行っており、着々と成果が表れております。
今後も当社グループは、「生活文化創造企業」の経営理念のもと、「未来のあたりまえ」となるような、お客様から長く愛される製品・サービスの創出を目指して取り組んでまいります。
株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成26年12月

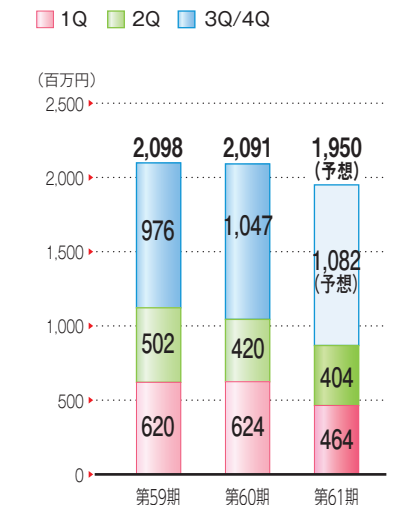
売上高



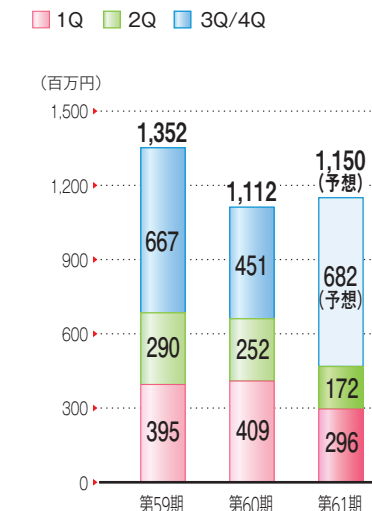
営業利益・売上高営業利益率



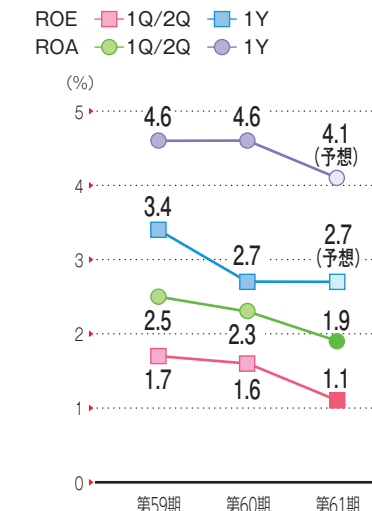
経常利益



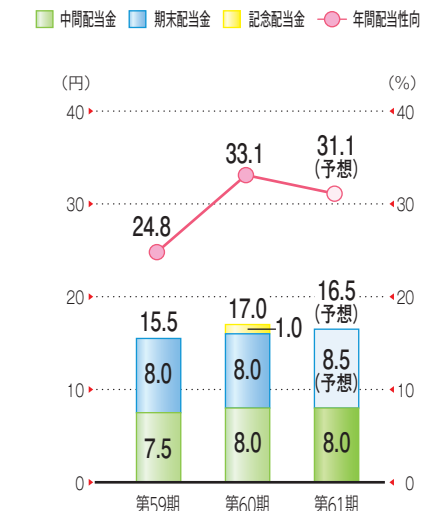
四半期(当期)純利益



ROE・ROA



1株当たり配当金・配当性向



四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (26.4.1 から 26.9.30 まで)	前第2四半期(累計) (25.4.1 から 25.9.30 まで)
売上高	10,630	10,773
売上原価	6,951	7,059
売上総利益	3,678	3,714
販売費及び一般管理費	2,908	2,784
営業利益	769	930
営業外収益	108	118
営業外費用	9	4
経常利益	868	1,044
特別利益	4	13
特別損失	83	49
税金等調整前四半期純利益	789	1,008
四半期純利益	468	661

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 売上総利益

ファインケミカル事業では、国内経済市場の変化により消費者向け製品を中心に前期を下回ったが、海外向け販売が好調であったことにより増収となる。しかし利益率の高い業務用製品の販売が減少し、利益率の低い海外向け販売が増加したことで減益となった。ポラスマテリアル事業では半導体用途など海外既存流通での落ちこみがみられ減収となったが、産業資材部門において利益率の高い製品の出荷が増え増益となった。サービス事業では、自動車整備・钣金事業と生活用品企画販売事業において減益となり、不動産賃貸事業では大幅増益となった。

Point 営業利益

販売費及び一般管理費について、自動車ボディお手入れ製品の新製品発売にともなう広告宣伝費、販売促進費を投資したことにより、営業利益は減益となった。

SEGMENT INFORMATION

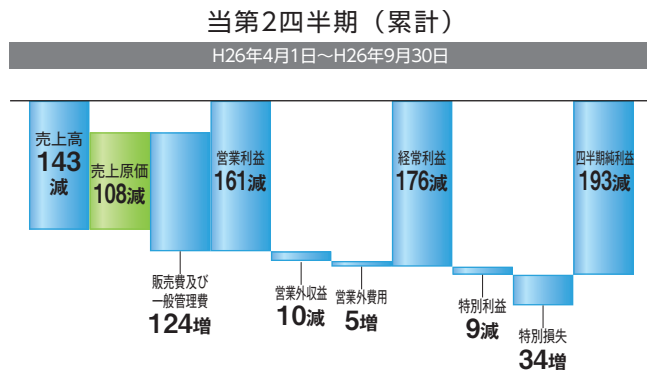
セグメント別概況

セグメント別売上高構成比



前年同期との比較

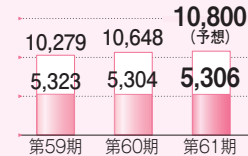
(単位：百万円)



Fine Chemical

ファインケミカル

(単位：百万円)



▲ 海外のコーティング施工店

消費者向け製品販売

- ▶ ボディお手入れ製品では、市場トレンドの変化に対応すべく新製品「スムースエッグマイクロホイップ」の拡販に努めたが、他の既存品の落ち込みをカバーできず。
- ▶ ガラス撥水剤「ガラコ」は企画品の導入により伸長、ワイパーは新たに加えた輸入車用製品の販売増加に加え、積極的な営業活動により前期を上回る。
- ▶ 他社とのコラボレーションによる新製品「メガシャキ芳香剤」は、カー用品チャネルだけでなく家庭用品チャネルでも展開を行い好調に推移した。

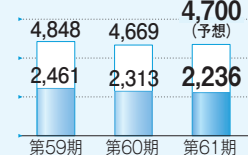
業務用製品販売

- ▶ 自社ブランドの業務用コーティング剤の販売は自動車ディーラー向け販売が好調であったがわずかに前期を下回る。
- ▶ 自動車メーカー向けOEM製品は、新車販売台数減少の影響により減少。

Porous Materials

ポラスマテリアル

(単位：百万円)



産業資材部門

- ▶ 国内向け販売は、半導体用途向け製品の得意先での在庫調整が終了したことで好調に推移した。
- ▶ 海外向け販売は、大手半導体メーカーの在庫調整で出荷が減少し、前期に至らず。

家庭用品販売

- ▶ メガネケア製品が苦戦し、家庭用クリーナーの販売でカバーしきれず前期を下回る。

海外向け製品販売

- ▶ 中国市場では消費ペースの鈍化がみられ、日本からの輸出は伸び悩んだものの、現地生産品の業務用製品の販売が好調に推移。
- ▶ 台湾、韓国では、ともにガラスケア製品の現地専用品を中心に好調に推移し、東アジア地域は、前期を上回る。
- ▶ タイ、ミャンマー向け販売が増加したものの、シンガポール、マレーシアでは若干苦戦し、東南アジア全体では前期に届かず。
- ▶ ロシアでは、ボディケア製品を中心に販売が好調に推移し、前期を大幅に上回ったことが主要因となり、海外向け販売は増収。

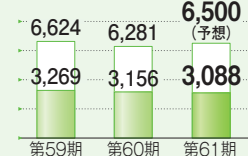
生活資材部門

- ▶ 家庭用品やスポーツ用製品で新製品を販売したことで好調に推移。車用品もカー用品専門店を中心に販売を伸ばした。
- ▶ 海外向け販売においては、米国での在庫調整によりセームを中心に販売が減少。生活資材部門全体では前期を下回る。

Service / Real Estate

サービス・不動産関連

(単位：百万円)



オートサービス事業

- ▶ 自動車保険の料率改定の影響を受け、損害保険会社からの紹介入庫が減少し、前期を下回る結果となる。
- ▶ 首都圏では東京の新工場を拠点に新規顧客開拓に努め、入庫を増やした。

自動車教習事業

- ▶ 消費増税前の駆け込み需要に対応し、普通免許の集中的な講習による高い稼働を維持したことで前期を上回る。

生活用品企画販売事業

- ▶ 主要得意先である生協向け販売においては企画当たりの売上が減少。インターネット販売でカバーしきれず、前期を下回る。

不動産関連事業

- ▶ 当社保有の物件で入居が増加し、前期を大きく上回る結果。
- ▶ 温浴事業では、客単価は向上したものの、一部店舗で設備更新による休業日があったことで来場者数が減少し、前期をわずかに下回る。

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期末 (26.9.30 現在)	前期末 (26.3.31 現在)
資 産 の 部		
流動資産	18,884	17,829
固定資産	27,926	28,705
有形固定資産	22,116	22,463
無形固定資産	138	190
投資その他の資産	5,672	6,050
資産合計	46,811	46,534
負 債 の 部		
流動負債	2,762	2,962
固定負債	2,459	2,392
負債合計	5,222	5,355
純資産の部		
株主資本	40,683	40,386
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,131	3,126
利益剰余金	35,533	35,259
自己株式	△ 292	△ 309
その他の包括利益累計額	906	792
純資産合計	41,589	41,179
負債、純資産合計	46,811	46,534

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)			
科 目	当第2四半期 (累計) (26.4.1 から 26.9.30 まで)	前第2四半期 (累計) (25.4.1 から 25.9.30 まで)	
営業活動による キャッシュ・フロー	639	1,354	
投資活動による キャッシュ・フロー	340	△ 141	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 225	△ 199	
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 1	1	
現金及び現金同等物 の増加額	753	1,014	
現金及び現金同等物 の期首残高	10,835	8,340	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	11,588	9,355	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	789百万円
減価償却費	360百万円
売上債権の減少額	58百万円
法人税等の支払額	431百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得支出	172百万円
有価証券・投資有価証券の取得支出	908百万円
有価証券・投資有価証券の売却・償還収入	1,004百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー

「従業員持株会支援信託ESOP」導入による自己株式
処分収入22百万円、借入金返済支出23百万円
配当金の支払額195百万円

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

株式の状況 & 会社の概要

▶ 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

株式の総数

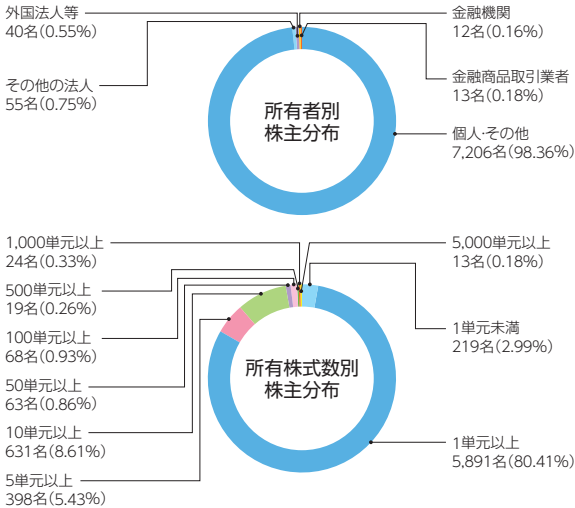
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	22,274,688株

株主数

当第2四半期末株主数	7,326名 (自己名義を除く)
------------	---------------------

大株主	持株数	議決権比率
サントレード株式会社	3,246,528株	14.8%
田中 秀明	1,496,976	6.8
鈴木 幹子	1,492,656	6.8
ロイヤルバンクオブナトラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	948,400	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.6
株式会社みずほ銀行	709,600	3.2
田中 信	603,720	2.7
佐藤 佐世子	594,192	2.7
田中 明三	552,424	2.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	545,900	2.5

※上記の他、自己株式が482,586株ございます。



▶ 会社の概要 (平成26年9月30日現在)

商 号	株式会社ソフト99コーポレーション
設 立	昭和29年10月28日
本 社	大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資 本 金	2,310,056,000円
従 業 員 数	201名
事 業 内 容	自動車用化学製品の製造及び販売

▶ 役員 (平成26年9月30日現在)

代 表 取 締 役 社 長	田 中 秀 明
取 締 役 会 長	田 中 明 三
常 務 取 締 役	西 川 保
常 務 取 締 役	辻 平 春 幸
取 締 役	奥 埜 佳 秀
取 締 役	石 居 誠
取 締 役	田 中 信
取 締 役 (社 外) ※	中 務 英 三
常 勤 監 査 役	古 居 祐
監 査 役 (社 外) ※	平 井 康 博
監 査 役 (社 外) ※	竹 村 聡
監 査 役 (社 外) ※	樋 口 秀 明

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。